

笑顔あふれるまちづくり



いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員区政報告

NO. 384. 2013. 1. 6.

区政をもっと身近に

一緒に行動する2013年に



「巳」漢書では、草木の生長が極限に達して次の生命がつくられはじめる時期と書かれています。2013年新たな変化の予感があります。より良い変化をつくるために、仲間を増やし前に進みましょう。



5月7日平和行進「原発ゼロ」かかげて

二テイバスを走らせてほしい」「消費税増税は困る中止を」「高層化や都市計画道路中心のまちづくりは見直しを」などなどたくさん運動が区政を良くしていきます。一緒に行動しましょう。

真実を伝えること

昨年3月首相官邸前、100人でスタートした反原発集会は、全国に広がり10万20万人集会と発展しています。「原発いらない 再稼働反対」のコールをもう止めることはできません。子ども・孫を守るために一刻も早く「原発ゼロ」を実現させましょう。

予算要望書を提出
285の願いがずっしり

年末に2013年予算要望書を区長に提出しました。各種団体との懇談会や個人から寄せられた285項目の要望。たくさん願いが共産党区議団を突き動かします。「特養ホームや保育園の増設を」「放射能から子どもを守ろう」「コミュニティセンターを走らせてほしい」「消費税増税は困る中止を」「高層化や都市計画道路中心のまちづくりは見直しを」などなどたくさん運動が区政を良くしていきます。一緒に行動しましょう。

区議会には濱野区政を厳しくチェックする役割があります。議会傍聴の呼びかけ、区政報告会の開催、いいぬま雅子ニュース発行、アンケート活動など充実させ区政の真実を伝えます。私が今一番伝えたいことは、武蔵小山駅前開発です。

いいぬま雅子地域の新春の集いは2月10日（日）午後 荏原第一地域センターに決定しました。地域の皆さんご参加ください。

**武蔵小山駅からアーケード側に
出たところの景色、4棟の計画予定**



**武蔵小山パルム駅前地区第一種
市街地再開発事業(小山三丁目)**

区域面積約0.9ha／地上39階／建物高さ142m／住宅640戸／1階～3階商業施設／駐車台数約220台

武蔵小山駅前に高さ142m巨大マンションが建設される説明会が8月24日25日ありました。その後の報告をします。

○9月21日いいぬま一般質問「品川区が誘導する武蔵小山駅前140m4棟マンション構想は撤回を」

○11月27日武蔵小山の環境を考える会が「武蔵小山駅周辺まちづくりへの住民参加を求める請願」提出、建設委員会で不採択

○11月10日品川区まちづくり講演会とまちづくりマスタープラン説明会

○1か月間のパブリックコメント（区民意見公募）

たくさんさんの取り組みがありました。環境を考える会、傍聴、請願、説明会、意見書提出など、区の姿勢を問い、住民参加のまちづくりを求めています。経過の中で明らかになった事を報告します。

あまりにも高い142mのビル
環境への影響を心配するのは当然！

環境アセスメントの対象は、高さ100mと延べ床面積10万平方メートル以上の建物。本計画は7万4千平方メートルなので、アセスにかからない。4棟が次々に建設されても1棟ごとで判断。日照、風害、車両増加による影響、景観など、心配への答えはどこから出てきません。環境悪化について、誰も責任を持たないしくみになっている事が明らかに。

区は、まちづくりに責任を持ち説明を地域住民の意見を計画に反映させて住民合意を最大限尊重し、再開発は見直しを

区は、「広報紙とHPで十分周知している」と説明を拒否。都と区が行った説明は、11月29日夜、品川区役所での1回のみ。12月26日の品川区まちづくりマスタープラン策定委員会では、パブリックコメントに寄せられた意見232通に対し課長は「パブリックを受け計画に変更はございません」と答え、委員の発言皆無のなか、マスタープラン（武蔵小山駅前開発が位置付けられている）は

決定し、区長に手渡されました。武蔵小山開発関係の18通の意見書には、高層化による環境悪化、地域の過密化、目黒線の混雑、地域住民が知らないうちにまちが変貌する心配があらわれていました。

事業者からは、防災のための高層化が強調されていますが、災害時の高層ビルの危険性には全く触れていません。まちづくりに責任を持つ区になるよう今後も求めています。